

報告事項エ

平成26年度PTA日韓交流事業について

平成26年度大韓民国江原道とのPTA交流について、別紙のとおり報告します。

平成26年11月10日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成26年度 P T A日韓交流事業について

小中学校課

1 趣 旨

環日本海諸国（大韓民国）の P T A関係者との交流の促進を図ることにより、相互理解と友好を深め、子どもたちの健全育成に向けた活動をより一層発展させる。

2 期 間

平成26年10月21日（火）～24日（金）（3泊4日）

3 主な日程

期日	内容
10月21日（火）	○県教育長表敬訪問
10月22日（水）	○倉吉東高等学校を訪問 ○P T A団体との意見交換会
10月23日（木）	○倉吉市白壁土蔵群を視察 ○南部町立西伯小学校を訪問 ○むきばんだ史跡公園を視察
10月24日（金）	○水木しげるロードを視察

4 訪問団（9名）

江原道学校運営委員会役員、保護者、教育庁職員、通訳 計9名

団長	江原道学校運営委員会連合会 麟蹄郡学校運営委員会連合会 高城郡学校運営委員会連合会 洪川郡学校運営委員会連合会	連合会長 会長 会長 会長	ナ・フンジュ キム・ジェナム リュ・ジェイル ナムグン・ジニョン	男 男 男 男
副団長	寧越郡学校運営委員会連合会 裕鳳女子中学校保護者会 江原道教育庁 江原道教育庁 鉄原女子高等学校	会長 会員 奨学士 主務官 教師	チェ・チャンベ キム・ヒスク クォン・ヨンシク ナ・フン ソ・サンボム	男 女 男 男 男

5 主な内容

(1) 倉吉東高等学校訪問

- 学校の概要説明、授業参観の後、意見交換を行った。
- 韓国では「ゆとり教育」への移行を検討中であり、日本が土曜授業を開始したことを受け、ゆとり教育への認識について質問があった。
- 校長が身に付けさせたい学力観を説明したところ、日韓の考え方の違いが再認識され、参考になるとのことだった。



<倉吉東高校での意見交換の様子>

(2) 県PTA団体との意見交換会

- あらかじめ3つの議題（いじめ問題、ケータイ・インターネットへの対応、学力向上の取組）を定めて意見交換を行った。
- 特にケータイ・インターネットへの対応については、子どもが依存にならないために、鳥取県では中学生まではケータイを持たせないよう啓発している旨を説明した。
- 韓国では社会状況（深夜までの通塾に伴う防犯上の理由による）の違いによりそれができないことなどが説明された。
- 韓国からは教育庁と事業者が連携してフィルタリングのソフトを開発するなどの取組が紹介された。
- 鳥取県からは事業者がモラル教育に参加していることや青少年のフィルタリングを条例で義務付けていることなどを説明し、非常に関心を持たれていた。



(3) 白壁土蔵群の視察

○倉吉市のボランティアガイドの案内により、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている白壁土蔵群の街並みや建物の特徴とともに、城下町として栄えた倉吉の歴史等について学んでいただいた。



(4) 南部町立西伯小学校訪問

○学校の概要説明、授業参観の後、6年生の教室における給食指導を見学していただくとともに、子どもたちと一緒に給食を食べながら交流を図っていただいた。その後、コミュニティ・スクールの取組について説明を行った。

○訪問団からは中学校との連携やコミュニティ・スクール導入の成果・課題等について積極的に質問が出された。

○江原道からも地域の方、教員、保護者で構成される学校運営委員会の制度や課題について教えていただいた。

○特に、委員の人選については、鳥取県同様に苦慮されていること、制度上も小規模学校では構成比率の基準が緩和されることなどの説明があった。

○学校と地域との協働が次世代の子どもたちを育成するために重要であるとの認識は共通であった。



<西伯小学校での意見交換の様子>



<児童とともに配膳を受ける様子>

(5) むきばんだ史跡公園視察

○むきばんだ史跡公園を訪問し、弥生時代の国の成り立ちや竪穴式住居の特徴を学んだ後、勾玉作りを体験し、子どもたちが楽しみながら歴史に興味を持つ取組を視察していただいた。

